

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム小牧白寿苑

## 目標達成計画

作成日: 令和元年 12月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15 18	認知症の進行に伴い、帰宅願望が強くなり、徘徊が増える。	認知症の進行を予防するために、日々の生活の中に「回想法」を取り入れ、入居者同士で語り合う時間を設ける。	・昔の懐かしい写真や音楽、昔使っていた馴染み深い家庭用品などを見たり、触れたりしながら、昔の経験や思い出を語り合うことで、不安や孤独感が和らぎ、自分の話を聞いてもらえているという満足感も得られるので、高齢者に多いうつ症状の改善、予防につなげたい。	12ヶ月
2	30 31	日々の運動不足により、体重増加やADLの低下がみられる。	運動する時間を設け、体力、筋力の維持する。	・筋力および関節可動域保持のために、健康体操や散歩を実施する。 ・運動と認知課題(計算、しりとりなど)を組み合わせた「コグニサイズ体操」を実施し、認知症の進行予防に努める。	12ヶ月
3	37 49	外出する機会が少なく、入居者を満足させられていない。	入居者が希望する場所に一緒に外出したい。	・各入居者からアンケートを取り、思い出の場所や家族とよく出かけたお店などを把握する。 ・家族と一緒に外出することで満足感と充実感を味わっていただきたい。	12ヶ月
4	2 48	地域との交流する機会が少ない。	地域のイベントに参加するなど、外部との交流の機会を増やす。	・民生委員や自治会と連携し、入居者に楽しんでいただけるイベントへの参加を計画する。 ・入居者が参加できる町内会の行事があれば積極的に声をかける。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。